

市島教授に北國文化賞

高度な技法で漆芸に新風

市島桜魚教授



金沢学院大学美術文化学部の市島桜魚教授は十一月三日、北國新聞社が美術、芸能の分野で活躍した人に贈る北國文化賞を受けました。市島教授は、詩絵人間国宝の大場松魚氏に師事してから三十年以上にわたり、引

かきや平文(ひょうもん)など高度な技法の習得に努め、繊細で優美な作品を発表して漆芸の世界に新風を吹き込んだことなどが評価されました。市島教授は、常に挑戦の心を持って漆の美を掘り下げたいと抱負を話しています。

大場ゼミ展



高田ゼミ展



棒田ゼミ展



山口ゼミ展



高屋ゼミ展



コンピュータ駆使の作品

情報デザイン学科の5ゼミ展

金沢学院大学美術文化学部情報デザイン学科の大場吉美、高田伸彦、棒田邦夫、山口征三、高屋

紀美術館を会場に順次開催されました。各展示では、コンピュータを駆使してデザインしたポスターや動画、写真、立体造形などが並び、訪れた人たちの目を引きました。

このうち大場ゼミ展では十月十日から三十一日まで、第一体育館の2階渡り廊下壁面いっぱいにして色とりどりの笑顔のシールが張られ、「笑顔満彩」をテーマに開催された清鐘祭を盛り上げました。

広島が松田選手指名 東高初 育成ドラフトで



石田校長らと記者会見した松田翔太選手に臨んだ松田選手(中央)

手は十月三十日のプロ野球のドラフト会議で、広島球団の育成選手として指名を受けました。プロ野球からの指名は東高校では初めてです。

東高校会議室で行われた記者会見で松田選手は「まず体を作り、自分の持ち味であるしなやかさを生かした投球を身に付けたい」と抱負を述べ、石田毅士郎校長らから激励を受けました。

東高生が未町清掃

金沢学院東高校の未町クリーンキャンペーンは十一月十日、同校周辺で行われました。三年生が日ごろの感謝の気持ちを込めて学校周辺の道路沿いや空き地に落ちていたごみを拾い集めました。ナイロン袋と火ばさみを持つ生徒らは、二、三人がひと組になって空き缶、吸い殻、紙パツクなどのごみをつまみあげ、分別しながら集めました。写真左。

国税局が特別講義

金沢学院大学経営情報学部の特別講義は十一月七日、4号館講堂で行われ、金沢国税局の岸野悦朗総務部長「写真左」が「情報化社会における税務行政のあり方について」と題して話しました。



岸野総務部長は最近の通信利用状況や国税の電子申告・納税システムの仕組みを説明し、利用を促しました。

新潟県教員に合格

平成十四年に金沢学院大学文学部日本文学科を卒業した長谷川弘美さんが来年度の新潟県教員採用試験(中学校国語)に合格しました。大学卒業生の公立学校教員は計百二十三人となります。

